

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		四天王寺和らぎ苑 放課後等デイサービス				公表日	令和8年4月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	33.3%	66.7%	活動や離床の順番を考えるなどしてスペースを確保している 臥床する時間をずらす等してスペースができるようにしている	利用人数によっては動けるスペースがないことがある 利用人数が多いときは、臥床するスペースがない時がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%	0.0%	数だけの問題ではなく、指導伝達ができ、周知して取り組める体制が必要 急な休みや医療度の高いご利用者がいるときは、応援体制を組んで職員を確保している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100.0%	0.0%			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	毎日掃除を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	0.0%			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100.0%	0.0%		振り返りが少ない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	個別支援計画の面談時に保護者の意向を伺っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	業務改善の意見が出た時は、その都度話を聞き、必要時は他職員の意見も聞いて業務改善につなげている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33.3%	66.7%		第三者による外部評価を受審できていません。今後の業務改善のため、受審を施設内で検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	苑内研修を年に数回行っている。その都度、外部の研修にも参加しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	ホームページにて公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	66.7%	33.3%	必要時、毎朝のミーティング時に話をするようにしている	職員間で共有ができる機会が少ない	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	その都度話を行い、情報を共有している	時々、打ち合わせなく支援に取り組む状況があり、職員間の連携不足になることがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	その都度話を行い、情報を共有している その日できなかった時は、翌日に話している	時々、打ち合わせなく支援に取り組む状況があり、職員間の連携不足になることがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	0.0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100.0%	0.0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100.0%	0.0%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100.0%	0.0%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0.0%	100.0%		コロナ禍になりしにくくなり、落ち着いたが現状できていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100.0%	0.0%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	66.7%	33.3%		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0.0%	100.0%		必要性はあると思うが、実践には至っていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	66.7%	33.3%		現在、ご家族からの意見に迅速に対応できていないことがある。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	対応できる内容については改善できることから取り入れようにはしている。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33.3%	66.7%		重度な障害をもった児童に対しては、健康管理が基盤であり、感染対策等と環境変化に適応が必要になることや、個別のプログラムが優先される為、現在はできていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%		ヒヤリハット等があったときは、朝のミーティングにて共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%		年に1回虐待防止についての研修を行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%		対象児童無し	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日					回収数		
四天王寺和らぎ苑 放課後等デイサービス	令和8年4月20日					2026年3月31日 11名	8名	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	50.00%	50.00%	0.00%	0.00%	狭く感じる（毎回ではない） 学年が上がるにつれて、体もバギーも大きくなるので少し狭く感じる	ご迷惑おかけして申し訳ありません。部屋のパーティションを開けることや、活動内容によって工夫するなどしてスペースを活用致します。また、他の場所も使用できるよう検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	37.50%	25.00%	12.50%	12.50%	日によって違う もう少しいてくださると安心です。利用人数やケア児にもよりますが…。	ご迷惑おかけして申し訳ありません。安全を確保できる人数を確保できるよう努めていきます。この度のご意見を真摯に受け止めて今後に生かしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%		引き続きご家族の意見を聞きながら、また、職員でも話し合いながら環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	75.00%	25.00%	0.00%	0.00%		引き続き子どもたちの活動に合わせて清潔で心地よく過ごせる環境を作っていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%		今後も、子供に向き合う支援を目指していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	87.50%	12.50%	0.00%	12.50%		ご家族・子供に支援プログラムを提示し、それに沿った支援を行っていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%		今後も子供・保護者のニーズを把握し個別支援計画の作成に努めていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	87.50%	12.50%	0.00%	0.00%		支援内容を具体的に設定し計画を立てて実行していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	87.50%	12.50%	0.00%	0.00%		計画に沿った支援を行っていきます。今後も、ご家族と密に支援についての話をし、情報交換していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%		活動について個々の得意なこと、興味のあることを捉えて取り組みます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	25.00%	0.00%	62.50%	12.50%	別にいらない	こども達にとって自然な形で社会とのつながりが持てるように考えていきます。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%		丁寧な説明を心がけます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%		その都度、必要に応じて支援内容の説明をさせていただきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25.00%	12.50%	25.00%	37.50%		機会があれば開催を検討します。具体的にご意見、ご提案をいただくとありがたいです。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%		ご家族と密に情報交換を行い、共通認識を得ていければと考えています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	87.50%	12.50%	0.00%	0.00%		定期的に面談の機会をもうけさせていただき、情報交換できればと考えています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%		子供たちと共感しながらの支援を心がけていきます。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25.00%	25.00%	50.00%	0.00%	全くない そういふ機会があればよいなと感じる	機会があれば保護者会等の開催を検討していきます。具体的にご意見、ご提案をいただくとありがたいです。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	62.50%	0.00%	25.00%	12.50%	迅速でない 長い(待つのが)	ご迷惑をおかけしています。迅速にご家族からの意見に対して返事ができるように心掛けていきます。また、答えがすぐに返せないときは、その都度途中経過を伝えていくようにします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%		ご家族・子供が職員に話しやすい環境を作っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	50.00%	0.00%	37.50%	25.00%		定期的な会報の発行やホームページでの発信はできていません。来月の予定表で行事等連絡事項を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	87.50%	0.00%	0.00%	12.50%		個人情報の取り扱いにはしっかり留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	62.50%	25.00%	0.00%	12.50%		定期的に避難訓練を実施しています。ご家族への周知・説明をその都度していきます。ご不安な点などがございましたらお声がけください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	37.50%	0.00%	0.00%	62.50%		定期的に避難訓練を実施していくようにします。ご不安な点などがございましたらお声がけください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	62.50%	37.50%	0.00%	0.00%		子供の安全を最優先にして支援を行います。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	87.50%	0.00%	0.00%	12.50%		事故等があれば速やかに報告させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%		安心できる環境づくりに努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%		楽しんでいただける環境・活動を考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	87.50%	12.50%	0.00%	0.00%	感謝はしている	お褒めの言葉ありがとうございます。今後も皆様にもう思ってもらえるよう頑張っていきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人四天王寺福祉事業団四天王寺和らぎ苑 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年 3月 15日		2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各専門職による支援	保育士・児童指導員・療法士(PT/OT)・看護師による専門職が配置されているが、活動の場面において、それぞれの専門職の視点で、適切な支援を実施しています。今後の課題や取り組みについて情報を共有を行っています。	各専門職員が必要な研修に参加し、スキルアップを行うことで、知識と経験に基づいたより質の高い支援を提供できるようにします。また、担当者同士の連携を深めていき、それぞれの専門知識を共有していくことで、個々の課題解決と目的達成に向けて取り組んでいきます。
2	医療面の連携	重心施設であるため、医師・看護師が常駐されていますので、医療面に何かトラブルがあっても、すぐに連絡し、診ていただけるようになっていきます。	医療面の連携を高めて、個々の専門に基づいた質の高いものを提供できるようにする。専門職が各々の力が発揮できるようにしていく。緊急対応の研修も行っています。
3	個人個人に基づいた計画と、活動内容の実施	様々な特色をもった子どもたちがいる中で、個々に応じた支援を計画し実行しています。	個別支援計画に基づいて、担当者全員が参加する個別カンファレンスを実施して、更に利用者に対しての認識を深めながらも、個々の必要な支援を計画し実行できるようにします。その中で職員間での情報共有を行い、目的を共有し、それぞれの専門職が適切な支援を提供できるようにします。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応についての周知	施設内での安全・感染対策におけるマニュアルは策定されていますが、職員間も含めて周知を再度徹底する必要があります。保護者に対しては、具体的な説明ができていなかったことや、利用頻度や利用方法が異なり、避難訓練や防災対策のイベントに参加できていないことも要因であると考えます。	より具体的な内容を周知できるように、全体に向けてのアナウンスを行いながらも、防災イベントや、避難訓練を定期的に入れていくことで意識を高めていきます。
2	地域との交流	重度な障害をもった児童に対しては、健康管理が基盤であり、感染対策等と環境変化に適応が必要になることや、個別のプログラムが優先される為、実施計画が困難となっていると考えています。	必要性を考えながら模索していく。ご家族とも話をしながら必要かどうかを模索していく。
3			